

【基礎研修】 児童発達支援・放課後等デイサービス入門

実施日 年 月 日 事業所名

名 前

目次

【基礎研修】 児童発達支援・放課後等デイサービス入門

1

児童福祉とは

2

療育とは

3

児発・放デイで働くとは

4

まとめ

▶ “児童福祉” の概要

対象

“18歳未満の児童”（未成年）さらに、保護者、家庭、地域まで支援の対象に含まれる。



権利

“安全” “愛” “保護” “健やかな成長” “自立” が等しく保障される

『 近年では “児童福祉” から、家庭環境を含めて支える “子ども家庭福祉” という概念が主流 』



▶ “児童福祉事業” の施設の種類の種類

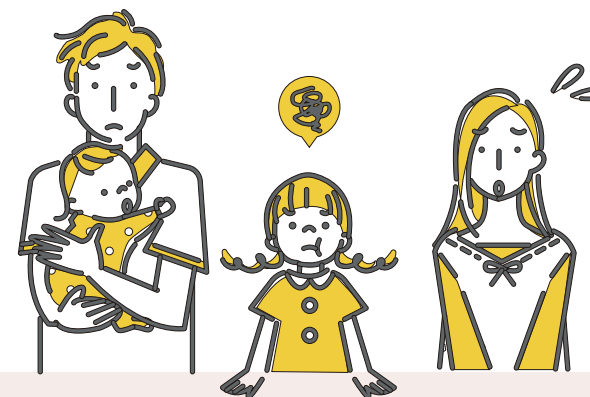
- ・ 乳児院：0～2歳の児童を養育
- ・ 母子生活支援施設：ひとり親家庭を保護・支援する。
- ・ 保育所・認定こども園：乳幼児の保育（こども園は教育等も行う）をする。
- ・ 児童厚生施設：児童館等、児童の心身の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
- ・ 児童養護施設：保護者のいない児童や虐待を受けた児童を養育する。
- ・ 障害児入所施設：障害のある児童を入所させる。
- ・ 児童発達支援センター：通所により障害児への療育を行う。
- ・ 児童心理治療施設：軽度の情緒障害児を治療・指導する。
- ・ 児童自立支援施設：不良行為のあった児童などの自立を支援する。
- ・ 助産施設：経済的理由で入院助産ができない妊産婦を保護する。
- ・ 児童家庭支援センター：専門的な相談・援助を行う。
- ・ 里親支援センター：身寄りのない子供の里親を探したり、里親を支援する。
- ・ 児童発達支援：未就学の障害児の療育をする。
- ・ 医療型児童発達支援：医療的なケアが必要な障害児の療育をする。
- ・ 放課後等デイサービス：学齢期の障害児の放課後や休日の支援をする。
- ・ 保育所等訪問支援：保育所や学校を訪問し、障害児への支援を行う。
- ・ 居宅訪問型児童発達支援：重症心身障害児などの自宅を訪問し支援する。

▶ “療育” の概要

発達に課題がある子どもたちが、将来的に自分らしく、社会とつながりながら生活できるように支援をすること。

||

“発達支援”



▶ “発達支援” (療育) の必要な児童とは？

発達の遅れ・特性	: 発語が遅い、指示が通らない、こだわりが強い
コミュニケーションが苦手	: 友達と遊ぶのが苦手、場の空気が分からない
行動面での課題	: 多動性、衝動性、パニックを起こす
基本的な運動や感覚が困難	: 極端に不器用、姿勢保持が困難、特定の音や感触への激しい抵抗
学習・認知の課題	: 読み書き、計算が極端に苦手

▶ “児童発達支援”・“放課後等デイサービス”の療育（発達支援）とは？

発達支援が必要な児童に、通い（通所）で支援を行う。事業所の特徴や児童の発達特性、保護者の希望を踏まえながら、“個別支援計画”を作成し、この計画に基づいて、指導員が支援を行う。

※ 事業所は事業所全体の支援プログラムを公表しなくてはなりません

【 個別支援計画 】

本人や保護者とのアセスメントに基づいて、“児童発達支援管理責任者”が原案を作成する。法律で定まった項目を記入し、最低でも6か月に一回更新する。家族支援と地域への移行支援も記入しなくてはなりません。

“5領域”（法律で定まった項目）

- 健康・生活
- 感覚・運動
- 認知・行動
- 言語・コミュニケーション
- 人間関係・社会性



▶ 支援者の基本的役割

【 支援者の基本的役割 】

降園後（放課後）又は、園（学校）休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他便宜を供与することとされている。
児童発達支援、放課後等デイサービスは、支援を必要とする障害のある児童に対して、学校や家庭とは異なる時間、空間、体験等を通して、個々の子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、子どもの最善利益の保障と健全な育成を図るものである。



“ 子どもにとってどうなのか
子どもを中心に考えて支援をする ”

▶ 支援者の基本的役割

【 共生社会の実現に向けた後方支援 】

児童発達支援、放課後等デイサービスの提供にあたっては、子どもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるため、他の子どもも含めた集団の中での育ちをできるだけ保障する視点が求められている。

事業所においては、放課後児童クラブや児童館等の一般的な子育て支援施策を、専門的な知識・経験に基づきバックアップする「後方支援」としての位置づけも踏まえつつ、必要に応じて他の児童福祉施設との連携を図りながら、適切な事業運営を行うことが求められる。



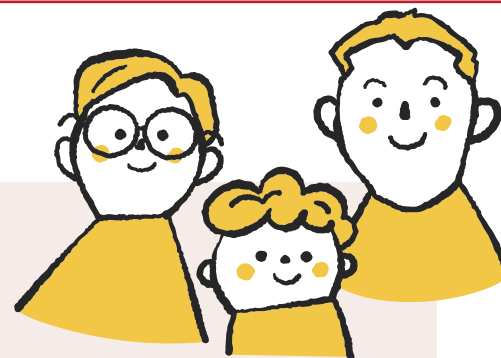
▶ 支援者の基本的役割

【 保護者の支援 】

児童発達支援、放課後等デイサービスは、保護者が障害のある児童を育てることを社会的に支援する側面もあるが、保護者に向けた支援を行うことで、児童に向き合うゆとりと自信を回復することも、児童の発達に好ましい影響を及ぼすものになり、効果的な発達支援を行うことが出来るようになると考えられる。

● 保護者支援

- ・ 子育ての悩み等に対する相談を行うこと。
- ・ 家庭内での養育等についてペアレントトレーニング等を活用しながら児童の育ちを支える力を付けられるよう支援すること。
- ・ 保護者の時間を保障する為に、ケアを一時的に代行する支援を行う
(レスパイトケア)



終わりに ...

今回は児童発達支援や放課後等デイサービスで働く上での基本的な基礎知識や発達支援の取り組み方について学びました。具体的な発達支援の方法や、発達に関する詳しい内容は、オンラインでの『発達土台研修』でしっかりと学びます。いつも、より良い支援を心がけて、利用者さんや保護者の方に質の高いサービスを提供していきましょう。

ご視聴、ありがとうございました。

